

藤沢商工会議所経営発達支援計画（令和元年度）に対する事業評価の結果について

本所経営発達支援計画に基づき、記載の事業（平成31年4月1日～令和2年3月31日実績分）について、地域の状況を把握している外部有識者（5名）による事業評価を行った。なお、6月に事業評価会議を開催する予定にしていたが、新型コロナウイルスの感染リスク回避のため、書面による審議とした。事業の評価については、当初想定していた目標と実際の達成度合いを比較し、以下（ ）内以示す割合に応じて判定した。

- A評価：十分達成している（100%以上）
- B評価：概ね達成している（80%～99%）
- C評価：半分程度しか達成できていない（30%～79%）
- D評価：ほとんど達成できていない（30%未満）

評価委員（外部有識者・順不同）

- ・独立行政法人中小企業基盤整備機構 慶應藤沢イノベーションビレッジ
- ・かながわ中小企業成長支援ステーション（神奈川県中小企業支援課海老名駐在事務所）
- ・藤沢市経済部産業労働課
- ・日本政策金融公庫横浜支店 国民生活事業
- ・神奈川県よろず支援拠点（中小企業診断士）

書面審議の期間

令和2年6月15日（月）～7月3日（金）

経営発達支援計画に対する事業評価結果

次のとおり

藤沢商工会議所経営発達支援計画（令和元年度実績分）に対する事業評価結果

1. 地域の経済動向・需要動向に関する情報提供

事業等	評価				
(1) 日商 LOBO 調査、景気ウォッチャー調査、雇用動向調査	B	B	C	B	B
(2) 経済動向調査の分析説明会	B	B	C	C	B
(3) 景気動向・需要動向等について調査及び分析、公表	A	A	A	A	A

講評等：概ね計画どおり実施されていると考える。

経済動向調査の分析説明会は、開催回数は目標を達成できていませんが、受講者数では年2回開催した平成30年度の2倍となっているので、1ランクプラスして評価。

景気動向・需要動向の把握については、会員事業所への調査を定期的実施し、各業種の動向を把握し、実態に即した伴走型の経営発達支援に繋げようと努力をされている。

会報誌等で非常にわかりやすく情報発信していただいています。引き続き対象企業を増やして精度を上げつつ、積極的な情報発信をお願いします。

若干バラつきはあるものの、全体としては計画的に取り組んでいる。

2. 経営分析に関すること

事業等	評価				
(1) 経営分析	A	A	A	A	A
(2) 業種別情報交換会	A	A	A	A	A

講評等：目標を上回って達成されている。

計画どおり実施されており、目標を上回る実績となっています。

経営指導員による個別相談については、巡回相談などアウトリーチの手法により、積極的に実施されており、状況により専門家への相談へエスカレーションをし、会員事業所の経営相談に対応しており、会員事業者の健全な事業運営に寄与している。

前年度に引き続き、分析結果を大きく伸ばした点は評価できます。今後も連携機関とも協力しながら、事業者の強みや弱みといった企業実態を適切に把握し、還元していただくようお願いします。

毎年、着実に取り組んでおり、具体的な実績においても計画を上回っている。

3. 事業計画策定支援に関すること

事業等	評価				
(1) 経営計画策定支援セミナー	C	C	C	C	B
(2) 個別専門家相談	A	A	A	A	A
(3) 事業計画策定支援	A	A	A	A	A
(4) 小規模事業者経営発達支援融資	D	D	C	D	D
(5) 経営革新支援	A	A	A	A	A
(6) 創業支援	A	B	B	B	D

講評等：概ね計画通り達成されたものとする。

創業セミナーについては、セミナー受講者数が目標を大きく上回っていること、創業者数は年間目標としては設定値が高すぎるが、5年間の累計の成果と捉えると近い数字になっていることから、1ランクプラスして評価しました。

会員事業者に対する経営計画の策定支援においては、入り口のセミナーの開催を通して個別専門家相談へ繋げ、事業計画の策定の意義・必要性の理解を深めた上で、具体的な計画の策定支援を行っており、効果を高める手法をとっている。また創業支援においては関係団体と連携をしながら積極的に取り組まれている。

事業計画策定事業者数や、経営革新のセミナー回数、認定事業所数を伸ばしている点が評価できます。よろず支援拠点とも連携しながら、創業や事業承継といった重要テーマに、今後とも積極的に取り組むようお願いいたします。

創業件数・創業者数について、いつの時点で創業しているのかを確認すること自体に難しさがあり、やむを得ない面もある。

4. 事業計画策定後の実施支援に関すること

事業等	評価				
(1) 事業計画策定後の支援	A	A	A	A	A

講評等：計画を上回って達成されている。

今年度は過去5年間の中で初めて目標数を上回った達成率となっています。

事業計画の策定後のフォロー体制も充実しており、関係機関との連携やフォローアップセミナーの開催などにより、伴走型の支援を実践しており、支援対象事業所数も目標値を超えており高く評価できる。

フォローアップ件数を大きく伸ばしている点が評価できます。計画策定後の事例をたくさんストックすることで、今後の計画策定支援に還元できるようになります。多忙とは思いますが、フォローアップ対応の継続をお願いします。

事業計画策定後のフォローアップ支援が着実に行われていることは、事業者にとっても心強い支援となっていると思われる。

5. 需要動向調査に関すること

事業等	評価				
(1) 需要動向分析	C	B	C	D	C

講評等：例年での水準で実施されたものとする。

目標値は受講者数を基に、過去5年間の中で一番多かったこともあり、1ランクプラスして評価しました。

地域特性の把握に有効なビッグデータを利用した商圈分析や消費動向を可視化して、セミナーを通じ、その重要性の認識を深めることにより、各事業所が戦略的な事業計画の策定に繋がる取り組みを実施している。

G I Sやビッグデータを活用することで、創業者の計画策定の大きな助けとなるので、セミナー等を活用しながら、周知の取組みを継続していただきたい。

事業者のニーズとサービス内容にミスマッチがありそうで、マーケティング分析とか、G I Sといっても事業者がピンときていない可能性がある。

6. 新たな需要の開拓に寄与する事業に関すること

事業等	評価				
(1) イベントによる需要の開拓と販路拡大	A	A	A	A	A
(2) 商工会議所等連携によるビジネス交流会	B	C	C	D	A
(3) 公的機関等との受発注促進	C	D	C	D	D
(4) ① IT活用による需要の開拓 (B to Cの販路拡大)	C	C	C	D	D
② " (B to Bの販路拡大)	B	B	C	B	C
③ " (商圈分析ツールによる需要開拓)	C	C	C	C	D
(5) 観光客をターゲットとした需要開拓	C	D	A	C	A
(6) 展示会等への出展支援	C	C	C	D	C
(7) 海外展開による支援	C	C	C	C	C

講評等：例年水準での実施がされていると考える。イベント系については、コロナによる影響もあり、やむない点もあり。

(4)については、キャッシュレス決済導入支援事業、ハーフ・プライス事業の成果を加味し、いずれも1ランクプラスして評価しました。

恒例となっている「ふじさわ産業フェスタ」の開催は、出展を契機とした需要の開拓や事業者間交流につながっており、有効なものとなっている。今後の事業展開においては、重要なツールとなるITを活用した需要開拓についても小規模事業者へのきめ細やかな支援を実施しており、ニーズに即した事業となっている。

目標値には到達していないものの、キャッシュレス決済導入など先進的な事例も含めた幅広い取り組みにより、地域の活性化に大きく貢献していただいています。今後もハーフプライス事業のようにアイデア次第で大きな効果が見込める新規事業を積極的に推進していただきたい。

数多くのイベント、展示会出展などに積極的に取り組んでいる姿勢が伺える。

7. 地域経済の活性化に資する取組

事業等	評価				
(1) 藤沢宿・遊行の盆	C	C	A	C	C
(2) ブランド料理等の新製品研究・開発	C	D	B	D	C
(3) 藤沢駅周辺の商店街と大型店が連携事業「LOVE 藤沢」	A	A	A	A	A

講評等：概ね例年水準での実施がされたものとする。

(1)は来場者数減少の要因を捉えるとともに、(3)も含め、新型コロナウイルスの影響も踏まえて、今後のあり方を検討してください。

「藤沢宿遊行の盆」や地域資源を生かした新製品の開発を通じて、郷土愛の醸成を図りながら地域経済の発展に寄与する事業を展開している。また、商店街団体と百貨店等の大型店が連携した取り組みである「LOVE 藤沢」は、垣根を越えた藤沢独自の取り組みとして定着しており、地域経済の活性化に繋がっている。

地域資源を活用した活性化に資する取組を積極的に行っていただいております。今後も継続をお願いしたい。

イベントなどは天候に左右され易い取り組みであり、集客実績に波があるところはやむを得ないことである。

8. 経営発達支援事業の円滑な実施に向けた支援力向上のための取組

事業等	評価				
(1) 経営革新セミナー・創業セミナーの関係機関との連携・取組	A	A	B	B	A
(2) 企業情報交換会事業の取組	C	D	D	D	D
(3) 厚木基地とのビジネスマッチング事業の取組	B	A	A	A	B
(4) 県下商工会議所との情報交換についての取組	A	A	B	A	A
(5) 日本政策金融公庫等の支援機関との情報交換についての取組	A	A	B	A	A

講評等：概ね計画通りに実施されたものとする。

（2）は新型コロナウイルスの影響と考えられる。今後は実施方法（TV会議など）も検討されて取り組んでください。

厚木基地とのビジネスマッチング事業において、新たに構築されたHPサイトについては、支援機関の主体的な取り組みと受け止めると、小規模事業者の販路拡大への効果検証をした上で、継続した活用促進を図ることにより効果を高めていただくことを期待します。

連携機関との協力、情報交換を適切に行いながら、引き続き、経営発達支援事業を推進していただきたい。

周辺関連団体との情報交換や交流を積極的に進めている姿勢が伺える。

9. 経営指導員等の資質向上等に関すること

事業等	評価				
(1) 経営指導員の研修内容	A	A	A	A	A
(2) 専門家と経営指導員との支援体制	A	A	B	A	A
(3) 経営指導員の情報共有	A	A	B	A	A
(4) 商圈分析手法、経営計画書策定に関する研修	A	A	B	A	A
(5) 経営指導員の自己研鑽	A	A	A	A	A

講評等：計画通りに実施されたものとする。

引き続き経営指導員等職員の資質向上に努めるとともに、モチベーションの向上や働きやすさなども踏まえ取り組んでください。

経営指導員は社会情勢や法制度の変化の情報収集や自己研鑽を行うことにより、地域事業者の相談への柔軟な支援が可能となるので、定期的に研修会等へ参加し、組織内で共有することは重要であると考えます。貴所においては非常に積極的に取り組まれている状況が伺え、事業者支援実務においても生かされている状況が伺えます。

連携機関との情報交換や研修会を積極的に行い、スキルアップを図っている。引き続き前向きな取り組みをお願いしたい。

経営指導の研修会参加、現地OJT研修にも積極的に参加するとともに、経営指導員同士の情報交換にも積極的に取り組んでいる。

10. 経営発達支援計画に基づく全体的な事業評価

評 価				
B	B	B	B	A

講評等：全体として概ね計画通りに実施されていると考える。コロナ禍の発生により、市内企業にも多大な影響が及ぶ状況となっており、これまでの実績をご活用の上、さらなるご支援に期待するところが大きい。

下半期に目標を達成され評価が上がった項目が多くみられるなど、努力が成果へとつながっていると考えられます。今期は新型コロナウイルスの影響により、中小企業・小規模事業者の経営状況が厳しくなることが予想される中で、商工会議所の果たす役割は増々大きくなっていくと思料されます。一方、(新型コロナウイルスの影響により)支援のあり方や経営指導員等職員の働き方なども変革が求められているように感じています。こうしたことも踏まえた上で、今期以降、更に一段上を目指して、中小企業・小規模事業者にとってより身近で頼られる商工会議所へと飛躍されることを期待します。

新型コロナウイルスの感染拡大による影響は、あらゆる業種に及んでいる中、過去に経験をしたことのないダメージを受けている状況において、小規模事業者の支援については、先が見えない業況での新たな設備投資などは積極的になりづらい状況であります。令和元年度においては、第4四半期においては、当初計画していた事業も中止・縮小を余儀なくされ、経営の維持など相談の対応に終止されていたと推察します。今後の状況が見通せない中、ウイルスと共存した中での経営戦略が求められており、社会情勢の見極めが困難な中、新たな発想でのビジネス展開への経営相談への対応が必要となるものと考えます。これまでの事業展開の中で培われた経営指導のノウハウをフル活用していただき、引き続き市内経済の原動力である中小・小規模事業者の支援にご尽力くださいますようお願いいたします。また、私(行政機関の職員)としましても、地域経済の活性化は住みよい街づくりの筆頭要件と考えていますので、国・県・市の支援策などについて、こまめに情報提供をさせていただき、連携した取り組みを進めさせていただきたいと考えております。

取り組みにより達成率のバラツキはあるが、全体として見れば適切に経営発達支援計画を推進しており、概ね達成の評価は可能と思われる。引き続き、地域経済の中核として、地元の発展のために積極的な取り組みを期待します。

実施項目によって達成度にバラツキはあるものの、会議所の取り組みとして全体を俯瞰して見ると、様々な取り組みに積極的に取り組んでいる姿が確認できました。天候によって成果が左右するイベントや展示会などの集客が未達成であることはやむを得ないことだと思われる。